



高野山開創
1200年

題字 / 弘法大師



駕龍寺定紋



高野山真言宗
備福山正智院 駕龍寺

住所 〒710-0042
岡山県倉敷市二日市600

電話 086-421-5631

発行人 富山義賢

ホームページ <http://www.karyuji.jp/>

謹賀新年

高野山真言宗 駕龍寺
住職 富山義賢
少僧正

責任役員
総代

藤木達夫 藤原公一 藤原金一 小原惣一郎 那須昭文 眞鍋兄一 藤井繁夫 高中木村久志 岡本晃大 大熊公通 陶浪保夫 藤木萬平

写真 / 富士山 藤森 眞澄

高野山開創1200年
記念大法会

生かせる
—大師のみおしえ いまここに—

平成27年4月2日～
5月21日

言頭卷

年頭にあたり

明けましておめでとございます。

平成二十七年の輝かしい新年を檀信徒・有縁の皆様方と迎えられます事を大変嬉しく存じます。

天皇陛下 皇后陛下におかせられましたは、常に国民を思し召せられて頂いていることは国民等しく感激する処であり、聖寿の万歳と御皇室の弥栄、わが国の悠久なる発展をお祈り申し上げます。

さて、本年は弘法大師が真言密教の根本道場として高野山を開かれてから千二百年目の年を迎えます。この記念すべき年に高野山では四月二日から五月二十一日までの五十日間、弘法大師空海上人が残した大いなる遺産への感謝を込めて絢爛壮麗な大法会が執り行われます。

弘法大師は都の喧噪を遠く離れ、紀伊山地の雄大な自然に抱かれた高野山を密教の道場建設の地として選ばれました。国、社会の安泰を永遠に祈り、多くの人々の幸福のために活躍しうる人材を育成したいという思いが弘法大師を突き動かしました。1200年という大きな節目を迎え、次の百年、千年への新たな時代への扉が開かれます。私どもは高野山開創千二百年を皆様方と共に祝い致したく存じております。

最後になりますが、昨年の寺院運営ならびに恒例行事も檀信徒の皆様方のご理解とご協力によりまして無魔成満できました事を紙面をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。駕龍寺の寺門興隆は専ら寺の努力のみでなし得るものではなく、多くの檀信徒皆様方の努力と真心によってなし得るものと言えます。本年も物心両面に亘る御信援をお願いいたします。

備福山 正智院 駕龍寺

住職 富山 義賢



大変寒い日々が続きますが、皆様方にはご自愛頂きまして、駕龍寺の御本尊ならびにお大師様の御加護をいただかれつつ、健やかに過ごされますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

謹告

一、駕龍寺住職富山義賢僧正、奈緒美夫人は平成二十六年十月十七日午後三時二分、岡山県岡山市北区田益一七一番一号、国立病院機構岡山医療センターにおいて出産、男子が誕生いたしました。(第二子)
二、誕生した義賢僧正の第二男子は同月二十三日、眞迪まことと命名されました。

右、謹んでご報告申し上げます。

以上



備福山小史 平成二十六年 下半期

盂蘭盆大施餓鬼会



八月十七日、午前十時より駕龍寺本堂において毎年恒例の盂蘭盆大施餓鬼会が厳修されました。

今年が当日が日曜日と重なったこともあって、例年を上回る参詣者が来山、法会では平成二十六年に初盆を迎えられた精霊のご家族をはじめ、多数の檀信徒の皆様が参列され、富山義賢住職導師のもと隣寺の法輪寺田中良全住職、大阪府摂津市の金剛院松政暁道僧正のご出仕により各師の読経の響く中、参列者は焼香して、各々志すところの精霊の増進菩提を祈りました。

法会に引き続き、京都の若手音楽集団「めぐみと雨」による奉納演奏が行われ駕龍寺では初の試みとなる本堂ミニライブに耳を傾けました。お斎として本堂前のテントではそうめんと麦茶の接待が行われ、総代と檀徒婦人有志の方々の前日からの準備と、当日暑い中での熱心な奉仕により、盛大裡に終了しました。

なお、八月十三日夕刻に奉迎された檀信徒各家の先祖代々霊位は十六日までの四日間、住職はじめ寺族の手厚いもてなしを受け、十七日夕刻、住職によって密厳浄土に再び奉送されました。

酒樽観音大祭

昨年十一月十六日午前十時より、本堂において恒例行事の酒樽観音大祭大般若転読法会が厳修されました。この行事は収穫の秋を迎え、農作物の実りと食に対する感謝を捧げ、檀信徒の家の安全と厄除讓災いを祈るために、一昨年より新たに始められた行事です。

当日は大般若法会の本尊として正面に「般若十六善神」の軸が掛けられ、富山住職導師のもと結衆ならびに法縁寺院十口を職衆に、御導師の三禮、表白に続いて職衆が大般若経六百巻を次々に転読しました。その間参列者には大般若経理趣分によるお加持が行われ、一人一人が般若の梵風を受けて、一年の感謝と無病息災を祈りました。

法會後には、この日にしか受けることのできない大般若経のお札と御供物、お接待の赤飯などが配られました。今年日程は**十二月十五日** 日曜日です。皆様お揃いでお詣り下さい。

奉納御札

新穀奉納
もち米 三十キロ
藤原通博様 《倉敷市粒浦》

尚、奉献頂きましたお米は、大般若會のお接待の赤飯に使用させて頂きました。謹んで御礼申し上げます。



近畿三十六不動尊霊場巡拝結願

一昨年の四月より檀信徒有志で続けてきた近畿三十六不動尊霊場巡拝が昨年九月十八、十九日の二日間にあたり実施された五回目の巡拝をもって無魔結願しました。

最終回の今回は札所中一番の難所である犬鳴山七宝瀧寺と高野山の塔頭二ヶ寺を含む九ヶ寺を参拝しました。二日目の最後に結願の三十六番札所である高野山南院(浪切不動)で一人一人に結願之証が授与され、参加者それぞれが全行程を終了した満足感とお不動様の御加護を身に染みて実感しながら、次回の巡拝旅行での再会を約束して、家路につきました。

次回の巡拝は、真言宗十八本山めぐり(日帰りで三〜四回)を予定しています。皆様ふるってご参加ください。

近畿三十六不動尊の札所は次の通りです。



札番	山号	寺院名	宗派	所在地
16	魚山	三千院	天台宗	京都府京都市左京区大原来迎院町540
15	五智山	蓮華寺	真言宗御室派別格本山	京都府京都市右京区御室大内20
14	大内山	仁和寺	真言宗御室派総本山	京都府京都市右京区御室大内33
13	嵯峨山	大覚寺	真言宗大覚寺派大本山	京都府京都市右京区嵯峨大沢町4
12	南山	安岡寺	天台宗系単立	大阪府高槻市浦堂本町4-1-1
11	獨鈷山	鑄射寺	真言宗単立	兵庫県神戸市北区道場町生野1078-1
10	若王山	無動寺	高野山真言宗	兵庫県神戸市北区山田町福地字新池1000
9	再度山	大龍寺	東寺真言宗別格本山	兵庫県神戸市中央区再度山1番地
8	大聖山	不動寺	高野山真言宗	大阪府豊中市宮山町4丁目7-12
7	護国山	国分寺	真言宗国分寺派	大阪府大阪市北区国分寺1-6-18
6	佳木山	太融寺	高野山真言宗	大阪府大阪市北区太融寺町3-7
5	高津山	報恩院	真言宗醍醐派	大阪府大阪市中央区高津1丁目2-28
4	心王山	京善寺	真言宗御室派	大阪府大阪市東住吉区桑津3丁目2-119
3	紫金山	法楽寺	真言宗泉涌寺派大本山	大阪府大阪市東住吉区山坂1丁目18-30
2	有栖山	清水寺	和宗	大阪府大阪市天王寺区伶人町5-8
1	荒陵山	四天王寺	和宗総本山	大阪府大阪市天王寺区四天王寺1丁目11-18



お願い お大師さま高野山開創
千二百年を迎えるにあたり
「**参与会にお入りください**」

お大師さまは今もなお高野山奥之院で永遠の御入定に入っております。その願いはすべての宗派や身分・職業・果ては国境をも越えて生き続けています。ここに、弘法大師を尊び敬愛し、信仰する皆様と共に弘法大師高野山開創千二百年大法会を成功に導くため、何卒お力添えをたまわりたく、高野山真言宗参与会にご入会下さいますようお願い申し上げます。

皆様方がお大師さまの御加護を受けられ、お幸せでありますように。

高野山真言宗参与会事務局

参与会とは、正式には高野山真言宗参与会といい、総本山金剛峯寺座主・高野山真言宗管長さまを総裁と仰ぎ、弘法大師(空海)のみ教えを守り弘め、お大師さまの衆生救済のご誓願におこたえすることを目的とする信仰団体です。

●お大師さまと共に広げることの輪、現代の高野山としてお大師さまのみ教えを広げていくために活動を行っています。会員になられますと、年二回の研修会や、高野山教報の購読、高野山へお参りの折りは各所内拝料無料、参拝記念としてお線香を贈呈致します。



倉敷仏教会主催研修旅行に参加

十月二十九日、倉敷市と早島町の
仏教各宗各派の寺院で構成される倉
敷仏教会の研修旅行が実施され、駕
龍寺からは住職以下五名の檀信徒が
代表して参加しました。

当日は、エヴァホール倉敷を九時
に出発、バス一台で一路兵庫県姫路
市は網干にある臨済宗妙心寺派の禅
刹「龍門寺(りょうもんじ)」に向か
いました。到着後は御住職で臨済宗
妙心寺派前管長の河野太通老大師に
よる法話を拝聴し、昼食の後記念撮
影、座禅の体験や境内散策を楽しみ、

36	高野山	南院	高野山真言宗別格本山	和歌山県伊都郡高野町高野山680
35	高野山	明王院	高野山真言宗別格本山	和歌山県伊都郡高野町高野山146
34	一乗山	根来寺	新義真言宗総本山	和歌山県岩出市根来2286
33	犬鳴山	七宝瀧寺	真言宗犬鳴派大本山	大阪府泉佐野市大木8
32	瀧谷山	明王寺	真言宗智山派	大阪府富田林市彼方1762
31	大峯山	龍泉寺	真言宗醍醐派	奈良県吉野郡天川村洞川494
30	塔尾山	如意輪寺	浄土宗	奈良県吉野郡吉野町吉野山1024
29	生駒山	宝山寺	真言律宗	奈良県生駒市門前町111
28	盛岡院	明王院	真言宗智山派	大阪府寝屋川市成田西町1011
27	安曇山	葛川明王院	天台宗	滋賀県大津市葛川坊村町155
26	比叡山	無動寺	天台宗	滋賀県大津市坂本町比叡山無動寺谷
25		円満院	天台寺門系単立	滋賀県大津市園城寺町33
24	神遊山	岩屋寺	曹洞宗	京都府京都市山科区西野山桜ノ馬場町96
23	醍醐山	上醍醐寺醍醐寺	真言宗醍醐派	京都府京都市伏見区醍醐醍醐山
22	北向山	不動院	天台宗系単立	京都府京都市伏見区竹田浄菩提院町61
21	紫雲山	中山寺	真言宗中山寺派	兵庫県宝塚市中山寺2丁目1111
20	五百仏頂山	智積院	真言宗智山派総本山	京都府京都市東山区東瓦町964
19		青蓮院	天台宗	京都府京都市東山区粟田口三条坊町6911
18		聖護院	本山修験宗	京都府京都市左京区聖護院中町15
17		曼殊院	天台宗	京都府京都市左京区一乗寺竹ノ内町42

帰路の途中では平成の大修理が完成
して間もなくの姫路城を見学。白鷺
城の名の通りの白亜に輝く天守閣を
後にして、夕刻には株式会社いのう
えの井上峰一社長以下社員の皆さん
のお迎えを受ける中、無事に帰倉。
参加者は日頃耳にすることの少ない、
他宗派の教えに触れる有意義な一日
を過ごす事が出来ました。

倉敷仏教会では、毎年の行事としてこ
のような研修会のほかに、三月十一日に
は市内の寺院を会場に、東日本大震災
物故者追悼法要を厳修しています。



● 研修会 参与会では、年一回研
修を行っております。内容は、
受戒、阿字観や法話聴講、勤行、
下座行(掃除)御詠歌などです。
開催については、毎月二回送ら
れる「高野山教報」でのご案内に
なります。会員の皆さまからは、
大変好評を得ている研修です。

● 物故者慰霊碑は、篤いご浄財に
より建立され、平成十四年十一
月十日奥の院において慰霊碑開
眼法会が執り行われました。参
与会員は、枢義・参与物故者慰霊
碑におまつりし永く供養を捧げ
ます。

● 会員になると、高野山真言宗管
長(参与会総裁)より委嘱状をお
届けし、参与袈裟と参与バッジ
を授与致します。また、参与袈
裟をつけて高野山にご登山くだ
されば、諸堂、靈宝館の内拝が
無料となり、金剛峯寺に参拝さ
れると、記念品としてお線香を
贈呈いたします。月二回発行の
「高野山教報」をお届けし、高野
山真言宗が発行するパンフレッ
トなど印刷物をその都度お届け
します。

● 年会費 一万円
この年会費は、お大師さまのみ
教えを一人でも多くの人に知っ
ていただくための広報活動に役
立てられています。

お問い合わせ、パンフレット
ご希望の方は駕龍寺まで

特集

高野山開創1200年

高野山は、紀伊半島紀ノ川の南

に位置し、蓮の花のように八葉の峰々に囲まれた平原の聖地です。

弘法大師は、弘仁七年(八一六)に真言密教の根本道場とするため、嵯峨天皇に高野山下賜の誓願を上表されました。これに対し嵯峨天皇は高野山下賜の太政官符を下され、七里四方の山林を弘法大師に与えられました。高野山の真言密教の聖地としての歴史はここから始まります。

今年、平成二十七年は、悠久の星霜を経て高野山開創千二百年に相当いたします。同年四月二日から五月二十一日までの五十日間にわたり「生かせいのち 大師のみおしえいまここに」のテーマのもと、高野山開創千二百年記念大法会として様々なイベントが開かれます。

《お大師さまの御開創の三つの目的》

第一の目的 「諸の修行者のために修禪の一院を建立したい」と

いう御念願。

第二の目的 「高野山に密教宣布の根本道場を開いて多くの教徒を養成し、千載不滅の法燈を輝かそう」というお考え。

第三の目的 「鎮護国家の祈りの道場とし、仏の道に志ざす人たちのために最も良い環境を与えよう」というお考え。

高野山開創1200年記念大法会

1200年、祈りの光景

平成二十七年四月二日から五月二十一日の五十日間には高野山真言宗の寺院とその檀信徒、他の宗派や寺院、あるいは僧侶や一般の別を問わず、日本全国から弘法大師を慕う人々が高野山を訪れて毎日、法会が行われます。壇場伽藍、奥之院をはじめ、山麓の慈尊院や丹生都比売神社など、弘法大師ゆかりの地を舞台に開創以来1200年目の壮大な祈りの光景が高野山上にひろがります。

金堂 御本尊特別開帳

期間 大法会期間中(平成二十七年

四月二日～五月二十一日)

場所 伽藍金堂

本尊 薬師如来(阿闍如来)

昭和元年、旧金堂は火災に見舞われ全焼します。その際、ご本尊を含む七体の仏像も焼失しました。現在の八代目金堂は、昭和九年の弘法大師千百年御遠忌にあわせた再建でご本尊も当時の大佛師、高村光雲師の手により新刻されました。

高野山の金堂は度重なる災禍により幾度も焼失し、その都度再建されていますが、これまでに金堂のご本尊がご開帳されたという記録は残っておりません。明治時代には文化財調査という名目で再三の開扉要求がありました。ついにその扉が開かれることはありませんでした。

このたびのご開帳は1200年と

いう長い高野山の歴史の中で、まさに歴史的瞬間です。開創法会期間中に限りそのお姿を拝見でき、みなさまとご縁を結んでいただけます。

ぜひこのすばらしい機会を逃さずお参りください。

金剛峯寺 持仏御本尊開帳

期間 大法会期間中(平成二十七年

四月二日～五月二十一日)

場所…金剛峯寺持仏

本尊…弘法大師座像

金剛峯寺持仏に安置される本尊、弘法大師は平成十一年に行われた平成の大修理落慶大法会の際に開帳されて以来、十四年ぶりの開帳となります。天和元(1680年)、檢校文啓の指示で大師尊像を彫刻、持仏に安置しました。持仏には本尊等の仏像の他に金剛峯寺の住職である歴代座主の位牌が安置され、欠かさず日々の勤行が行われています。

松長有慶大僧正猊下 退山式

永年のご尽力に感謝



高野山真言宗管長、総本山金剛峯寺第四一二世座主松長有慶猊下の退山式が十一月十四日、金剛峯寺上段の間にて行われました。

ご法楽の後、松長管長さまから「皆さまのお支えにより無魔成満させて頂き感激一杯です。来年、高野山開創

千二百年という節目を迎えますが、少しでもお役に立てたかと反省している次第です。今日までの皆さまのお心遣いのご支援に感謝いたします」とのご挨拶があり、添田宗務総長は「松長管長猊下には、二期八年に渡りご教導を賜りありがとうございます。猊下はお大師さまの教えを広く世間にご紹介されることに尽力されました。ご退任後もその才能が成満されますことをお祈り申し上げます」と挨拶をされました。

その後、大広間に場所を移し、職員に対してもお言葉を述べられ、金剛峯寺大玄関より詠歌特別講習会受講生のお唱えする「法悦歡喜和讃」の流れるなか、本山役職員、山内住職、有縁の方々多数に見送られ金剛峯寺をあとにされました。

松長管長さまは、高野山大学学長、高野山専修学院学院長などを歴任された後、平成十八年十一月十五日に入山されました。在任中には、全日本仏教会会長として全世界の仏教徒会議を東京で主催され、ダボス会議においては仏教徒として世界に東洋文化の精髓を発信されました。また、真言宗最大の行事である御修法の大阿闍梨、真言宗長者を務められ、さらには天台宗の半田座主猊下を高野山にお迎えされるなど、本山宗団の名を広く世に広められました。

中西啓寶大僧正猊下 入山式

精一杯務めていく

高野山真言宗管長、総本山金剛峯寺第四二三世座主にご就任された中西啓寶猊下の入山式が十一月十五日、金剛峯寺大広間にて行われました。自坊より金剛峯寺表橋にご到着された中西管長さまは、本山役職員、山内住職有縁の方々からの出迎えを受け、詠歌特別講習会受講生のお唱えする「金剛」の流れる中、金剛峯寺へご入山されました。

ご法楽の後、添田宗務総長より「この度は誠におめでとうござ

います。来たるべき開創大法会でも、猊下の長い事相家としての実力を発揮して頂くことをお願い申し上げます」と祝辞が述べられ、引き続き座主・管長辞令の伝達、公印の委託が行われました。

中西管長さまからは「昔から猊座に昇るといふことはとても考えてもおらず、そんな資格もないと思っていました。歴代の猊下にも申し訳なく感じますが、ご推薦頂いたことはお大師さまの思し召しと受け止め、精一杯務めていきたいと思えます。来年に控えた高野山開創千二百年大法会が無魔成満することを祈っております」との就任ご挨拶がありました。

晋山式は十二月十一日、金剛峯寺にて執り行われました。



ご案内

高野山結縁行脚く倉敷大会

高野山開創一二〇〇年を記念して、高野山奥之院の不滅の聖燈と三鈷杵が全国をお巡りしています。

【日時】平成27年1月17日(土) 昼2時〜4時

【会場】高野山倉敷別院 地藏院にて

【記念品】ご記帳(2,000円)で特製のお守りとお礼を授与します。

募集

▲高野山開創千二百年記念特別企画

▲特別記念品

▲胎蔵界結縁灌頂入壇

〜五十年に一度の機会!!

今しか見る事の出来ない高野山・金堂・金剛峯寺を特別公開

『本覺院』二日間

期間限定で金堂、金剛峯寺の御本尊が御開帳され、ありがたいお姿を拝見する事ができます。また法会期間中は日本全国から弘法大師を慕う人々が高野山に訪れ、毎日法会が行われます。特別な機会に今しか見る事の出来ない、世界遺産高野山に是非訪れてみてはいかがでしょうか。

日時 平成二十七年五月十二日

から一泊二日

旅行代金 四万五千円程度

申し込み締め切り 四月上旬を予定

※法会期間中は大勢の参拝客が高野山を訪れます。バスや宿泊等の手配の関係上、参加不参加の御意向を後日送付される葉書にて、お知らせください。現段階での御希望です。最終決定でなくても結構です。

おしえて

駕龍寺

ご信徒より寄せられた
質問にお答えします

初詣は「お寺」or「神社」!?
意外と知らない参拝方法の違いを教えてください!

みなさんは初詣は「お寺」と「神社」どちらに行きますか? 今回は、知っているようで意外と知らない「お寺」の参拝方法を詳しくご紹介します。正式な参拝方法を知ってから行けば、初詣が十倍楽しくなりますよ!

●お寺参拝でのNG行動は覚えておくべし!

神社とお寺の参拝は似ている点も多いのですが、お寺にはご法度のルールもあるのでぜひ覚えておきましょう。

お寺の参拝方法

【其の壱】お寺に入る時、山門の前で一礼してから中に入る



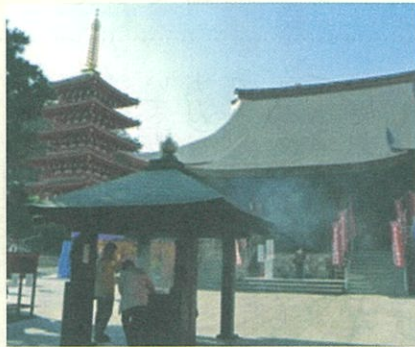
【其の貳】手水舎で手と口をすすいで身を清める(方法は神社と同様)

【其の参】鐘をつく

一般参拝者が鐘をつくの禁じている所も多いようですが、許可されていたらぜひついで下さい。ちなみに参拝後に鐘を鳴らすのは「戻り鐘」と呼ばれ忌み嫌われている行為なので気を付けて。

【其の四】ロウソクとお線香を上げる

防災のためロウソクとお線香がないお寺もあります。お線香の香りは仏様をもてなすと言う意味があるので、用意されている場合はぜひ献香して下さい。また、ロウソクもお線香も先の参拝者の灯明から火を受ける、「業を受ける」と言われていて縁起が悪いのでNG。



【其の五】本堂の前でお賽銭を納め鰐口(わにぐち)を鳴らしてから礼拝する

お賽銭を入れて鰐口を鳴らしたら、一礼をした後で胸の前で合掌しながら祈願をし、終わった後再度一礼をします。手を合わせるこ

とは、仏様と一体になることを意味しています。また、神社のように柏手は打たないの
要注意!

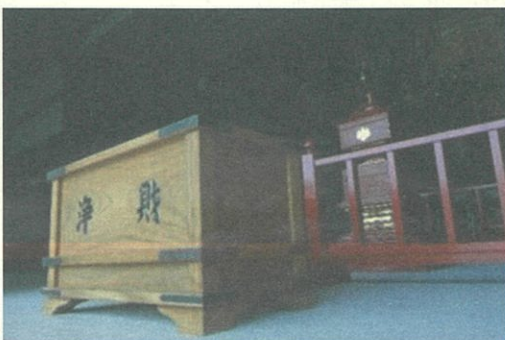
●初詣で友達に教えたい!

お賽銭に関するプチ雑学

最後に、初詣で家族やお友達に話したくなるお賽銭に関するプチ雑学をご紹介します。神社の場合は、神様へ日頃の感謝の気持ちをお伝えする表現としてお賽銭を納めるのに対し、お寺の場合は自分の欲を捨てる「布施行」(喜捨)という修行のひとつとして考えられて、理由は全く違います。その違いを知っていると、参拝の際の心持ちも違ってきそうですね。

また、初詣へ行くとき勢いよくお賽銭を投げた人がいますが、どちらにしても肅々とした気持ちで丁寧に納めるのが礼儀なので気をつけたいですね。

これで来年の初詣は作法を迷うことなく参拝でき、一年を通してスムーズに事が運ぶ良い年になること間違いなしですよ。



年末年始のご案内

新しい年を迎えますと、「今年は〇〇であ
りたい」とか「〇〇に挑戦したい」など、気
持ちも新たになるものです。そんな新しい
一年を、健康で無事に過ごせるように、年の
初めにはまず寺社に初詣という方も多いので
はないでしょうか。

駕龍寺でも毎年正月三箇日は、ご家族や友
人同士の方、御守やお札を求める方など、多
くの初詣の方をお迎えしています。また一
日から三日までは、多くの皆様にご参拝いた
だいています。どうぞ初詣は駕龍寺にお詣
りください。

初詣期間 二〇一五年一月一日(木)～三日(土)
時 間 午前八時～午後五時

※一日は午前〇時～午前二時ごろまで

授与品 吉祥宝来他 先着一五〇名

御供物(菓子) 先着二〇〇名

備 考 休憩所にて甘酒・御神酒接待
(一日午前一時頃まで)

「修正会」とは、寺院で正月に修する(執
り行われる)法会のこと、駕龍寺では一月
一日～三日をこの期間と定めています。二
月に修すれば「修二会」といい、「東大寺の
お水取り」などが有名です。

この修正会は新年を迎えるための行事であ
り、新たな一年の祈願を行います。その方
法は、民衆を代表して僧侶が一心に旧年に

行った罪悪の懺悔を行い、その結果として一
年の心願成就を願うものです。

駕龍寺では、大晦日の午後十一時四十五分
ころより当山住職の除夜の鐘によって旧年
の罪悪を改め新年を迎え、初詣参拝の方先着
百五十名に縁起物をお配りしています。皆
さまの初詣をお待ちしております。

新年はまず菩提寺と御先祖様にお詣り下さ
い。

【お知らせ】

十二月二十九日から一月七日までは年末年
始につき、通夜、葬儀を除く法事等の追善供
養はお休みさせていただきます。お電話によ
るお問い合わせは通常通りお受けいたしま
す。何卒ご了承ください。

一月団参募集

●大阪七福神めぐりとあべのハルカス美術館「高
野山開創1200年記念高野山の名宝」拝観
の旅

今年最初の駕龍寺心の旅バスツアーは、初詣
を兼ねて、十日戎、福娘で有名な今宮戎神社、
日本最古の官寺である四天王寺を含む、中央区、
浪速区、天王寺区という大阪市の中心街に広が
る大阪の七福神巡りを企画いたしました。併せ
て、高野山開創1200年を記念して開催さ
れる「山の正倉院」と呼ばれる高野山に伝わる、
宝物の数々を今話題のあべのハルカス美術館で

拝観します。通常は山外不出で、時には命がけ
で守り伝えられてきた高野山の名宝を一堂に集
め紹介している展覧会です。お大師様の教えと
ともに連綿と受け継がれてきた名宝を堪能して
ください。昼食はホテル日航大阪でお楽しみ
いただきます。お申し込みはお早めに。

日 時 平成二十七年一月三十日(金)
旅行代金 一万八千円(美術館入館料込)
申し込み締め切り 一月二十日(火)



国宝《八大童子立像》運慶作 鎌倉時代 十四世紀
十二世紀(一部、南北朝時代) 金剛峯寺蔵

のぼり幡奉献

駕龍寺境内にのぼり幡を半年間掲揚し、所
願成就を祈念申し上げます。なお掲揚に先立
ち朝の勤行にてお名前の奉読を行います。

- 御本尊観世音菩薩(願意記入)
- 弘法大師 (芳名のみ)

各三千円以上
お申し込みは随時駕龍寺まで。

年中行事

●修正会 一月一日午前零時

●節分会 二月三日午後三時

●弘法大師正御影供

●春季彼岸会・永代経供養

三月十七日午前十時

●孟蘭盆大施餓鬼会

八月十七日午前十時

●秋季彼岸会・永代経供養

九月十七日午前十時

●帯江三十三観音霊場本尊

酒樽観音大祭大般若転読法要

十一月十五日(日)午前十時

●除夜会

十二月三十一日午後十二時四十五分頃

○鎮守講

毎月一日午前十時

○観音講

毎月十七日午前十時

法話、おとき差し上げます。

○大師講

毎月二十一日午前十時

○奉仕の日(境内清掃)

概ね毎月二十八日午前中

※御供養・御祈祷時受付(要予約)
※いずれの行事にもお誘いあわせ、お気軽に御
参詣ください。

平成二十七年年忌繰出表

法事は御命日に、もしくは御命日に
遅れないように計画致しましょう

命日の当日に法事が出来なければ、なるべくそれよりも前の日に
行うべきだというしきたりは、「人
間はいい加減なものなので、いつ
でもいいとなると、どんどんおろ
そかになっていくから、当日にで
きなかつたり、土曜や日曜に執り
行いたい場合は、命日より前にし
なさい」と、昔の人は教えてくれ
ています。命日を過ぎてから法事
をしたら良くないとか、祟りがあ
るという意味ではありません。
だから命日を過ぎていたとして
も、法事をしないでおくよりは、
遅れてでもした方が供養になるの
は確かですから、是非行つてあげ
てください。

命日の当日に法事が出来なければ、なるべくそれよりも前の日に
行うべきだというしきたりは、「人
間はいい加減なものなので、いつ
でもいいとなると、どんどんおろ
そかになっていくから、当日にで
きなかつたり、土曜や日曜に執り
行いたい場合は、命日より前にし
なさい」と、昔の人は教えてくれ
ています。命日を過ぎてから法事
をしたら良くないとか、祟りがあ
るという意味ではありません。
だから命日を過ぎていたとして
も、法事をしないでおくよりは、
遅れてでもした方が供養になるの
は確かですから、是非行つてあげ
てください。

一周忌	平成二十六年	逝去
三回忌	同 二十五年	〃
七回忌	同 二十二年	〃
十三回忌	同 十五年	〃
十七回忌	同 十一年	〃
二十三回忌	同 五年	〃
二十五回忌	同 三年	〃
二十七回忌	同 元年	〃
三十三回忌	昭和五十八年	〃
三十七回忌	同 五十四年	〃
五十回忌	同 四十二年	〃
七十回忌	同 二十二年	〃
百回忌	大正 五年	〃

投稿募集

皆様の疑問質問にお答えします
お便りをお寄せください

福寿海では読者の皆様からの投稿を募集して
います。皆様の宗教体験や日常生活で感じたこ
となどをお寄せください。また『お答えします』
のコーナーでは、皆様から寄せられた疑問質問
に、住職はじめその道のプロが回答させていた
だきます。どんな些細な内容でも結構ですので、
いろんなご質問をお待ちしています。

《宛先》

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業を明記の上、
左記までお送りください。

〒七二〇・〇〇四二 岡山県倉敷市二日市六〇〇

高野山真言宗 駕龍寺「福寿海」係

●Eメールの場合は info@karyuji.jp まで

※採用させていただいた方には駕龍寺より粗品を進呈
させていただきます。

慧燈星懸 (編集後記)

あけましておめでとうございます、本年
も「福寿海」をよろしくお願いいたしま
す▼今号から本紙もカラー刷りとなり、
文字も大きくなりました▼今年高野山
開創1200年、駕龍寺でも五月には檀
信徒そろって高野山参詣の計画がある▼
寺院にとって、葬儀法事等の儀式と並
で重要なものに年間の恒例法会がある▼
昨年未の総代会では総代の皆さんから寺
と向き合う姿勢に対する並々ならぬ思い
を拝聴した▼日頃はあまり発言をされぬ
総代さん達のその言葉の端々に見える寺
を思う気持ちに胸が熱くなった▼一方で
総代の方々の溢れる思いを聞いていただ
きたい方々の一部がその場におられなかつ
たことには一抹の虚しさを感じた▼常日
頃から寺の行事や奉仕活動に参加されて
いる檀信徒の方からも総代各氏と同じこ
とを度々耳にする▼寺や神社の世話役は
俗世間の組織とは異なり家柄よりも地位
よりも根底に信仰の心が求められる▼ま
して寺院の運営は世間一般の企業運営と
同じであるなどは努々思われぬほうが
よい▼宗教組織の運営には伝統的な立場
と現代的な理解の両面が求められる▼僧
侶が布教等で現代社会に向かって発言す
るとき、伝統的な立場を踏まえながら、
現代人の理解をも考慮しつつ発言し、ど
ちらかの立場に一方的に偏つた法話をす
ることはしない▼寺院の運営についても同
じことが言える▼寺院の近代化という錦
の御旗を掲げて、歴史的な遺産と伝統を
考慮しない、一方的な動きは、近代化の美
名のもとに、やがて菩提寺に対する信仰
も、寺自体も弱体化させる要因となる▼
そのことはすでに、寺の枢要たる行事に
来るべき人の姿が全く見えないういうよ
うな現状にすでに顕れている▼先述の総
代会ではこの状況を、駕龍寺の行事に出
席していただいている他の御寺院の住職
の目にはどのように映っているのかを危
惧する発言もあった▼昨年十一月、二期
八年に亘る管長職を退任された松長有慶
院下は最後の御垂示に吉川英治氏の句を
引かれて惜しまれつつも爽やかに本山を
後にされた▼菊作り、花見るときは、蔭
の人▼どの立場にある者も我々はよくよく
肝に銘じておくべき句ではないだろうか